

村長の日記

2月1日(水)

東海環状自動車道がある。

豊田東ジャンクションで新東名高速道路、伊勢湾岸自動車道に繋がり、土岐ジャンクションで中央自動車道に、美濃関ジャンクションで東海北陸自動車道に、養老ジャンクションで名神高速道路、新四日市ジャンクションで新名神高速道路に、すぐ先の四日市ジャンクションで伊勢湾岸道路と東名阪自動車道に接続する。愛知県「名古屋」を中心として、岐阜県、三重県にまたがる大環状道路である。現在、豊田東ジャンクションから関広見インターチェンジまで東回り75.9キロは平成21年4月開通済。関広見インターチェンジから新四日市ジャンクションまで西回り77キロの内、開通済みは7.4キロ、29年開通が3.3キロ、31年開通見込みが22.1キロ。77キロの内43%が31年中に出来上がる。地図を見ると、県境に関係なくダイナミックな道路だ。

東京でも経験したが、いつ千葉県に入ったか、茨城県、神奈川県、群馬県に入ったか、わからない。どの県も同じような道路インフラだ。中京圏もまるで同じ、名古屋を中心として高速道路、国道、県道を含めて、道路全体のコンビネーションが良い。道路の節々には、トヨタ、ホンダ、三菱、川重、富士重工、スズキなどの工場群が並ぶ。大阪から中京地域に近い所へ工場群が移転するのは当たり前、大阪はまず道路インフラの充実を。

2月2日(木)

岐阜県立森林文化アカデミー

岐阜県立森林文化アカデミーは、森と木に関わるスペシャリストを養成する、岐阜県立の専門学校。

岐阜県は森林資源に恵まれ、昔から木材と共に生活し発展してきた地域だ。演習林まである非常に広大なアカデミーでは、育林撫育部門、伐採部門、木材利用部門、木材の川上から川下、木材を使った芸術までの教育を行っている。木材産出県岐阜ならではの。残念ながら副学長の話でも、木材不況が肌で感じられる。全国的に木材不況が広がっている。

岐阜県でも、20年前までは山持ち＝金持ちだった。山の木材は大径木になったら利用価値は上がるし、木材不況の現在でも十分に林業として成り立つ状況だ。これからの林業はドイツの林業に習って、大径木生産に移行する以外、道はない。1本の木材から4本の柱が取れる木を育てる必要がある。

大径木を育てるには間伐をこまめに行い、木の成長力を最大限に利用する必要がある。50年先～100年先、千早赤阪の木材が関西の文

村長の日記

化財補修、新築になくってはならない存在になる時代が、必ず来ることを夢見て岐阜を後にした。

2月3日（金）

近畿府県町村長会議（和歌山）

最初に近畿府県町村長会議 汐見会長の挨拶。

国は早期にプライマリーバランスを実現する予定だったが、ゼロ金利の金融緩和でもなかなか経済状況が回復せず、プライマリーバランスを実現することが難しい。平成30年まで国は町村財政支援を手厚く行うが、以後は不透明。予算編成に於いては、平成30年以降の財政運営に気を付けるように。

基調講演 “太地とクジラのかかわりについて”

太地クジラ博物館学芸員、今川恵さんの話。

日本のクジラ漁は、室町時代から記録に残っている。太平洋、玄海灘沿岸には古代より大量にイルカの骨が出土している。クジラとは現在体長4m~5m以上のモノを言い、以下をイルカと言うが、イルカもクジラ目でありクジラの仲間。クジラは上アゴにひげが生えており、口の中に水と一緒に取り込んだ餌をひげで漉し、餌を丸呑みする。しかし、イルカの仲間は歯が生えており、その辺がすこしくジラと異なる。

1934年以来、日本の南氷洋捕鯨が始まり、日本水産、マルハ、大洋漁業、極洋捕鯨による本格捕鯨が始まった。肉は食用にするとともに、髭は文楽人形等でスプリングの代用に使われ、鯨油は江戸時代水田の防除に使われ、うんか等の駆除用で、水を張った田圃に鯨油を流すと害虫類が全て死んだ。農薬の無い時代こんな便利な農薬は無かった。

1986年、捕鯨全面禁止となり、いま日本では小型捕鯨船による捕獲のほか、突きん棒漁、追い込み漁など細々も行われている。太地の追い込み漁で水族館向けの捕獲が行われている。少しだが、クジラの刺身、すき焼き、はりはり鍋用に、ベーコン、コロに加工され流通している。

南氷洋のクジラ資源も回復し、自然と調和した捕鯨はいつ始まるのか？

村長の日記

2月4日（土）

10:00

奥河内写真コンクール表彰式

議長と共に会場着。少し早かったので展示中の作品群を見る。毎年見せてもらうのだが、今年作品はとても素晴らしい。

奥河内は金剛山、岩湧山を中心とした人口密集地の中にある金剛山脈・紀泉山脈の中心、私の見知っている土地だ。時、場所、天候、季節を切り取るにより、素晴らしい絵になる。受賞者に「おめでとう」と共に、良い所をPR頂いて「ありがとうございます」

午後、

大阪府母子寡婦連合会 総会

少し早く着いたが、知事代理の副知事、前副知事で現府社会福祉協議会会長、代議士諸氏が来場。府下市町村長代表で来賓あいさつ。御苦労なされた皆さんにエールを送り、苦労が報われる地域を作ります。

この大会に参加したのは4回目と思うが、参加の皆さんが非常に熱心に参加されているのがわかる。議員皆さんのスピーチの後、体験談を聞いて女性のパワーを改めて感じた。

2月5日（日）

南河内駅伝競走（PL教団構内）

例年2月の第1日曜に、教団の好意により教団敷地内で開催。教団敷地内なので交通の問題もなく、選手たちは全力で走ってもらえる。広大な敷地を持つ教団のおかげと感謝。

現場に着いた所、生憎の雨しかも嵐に近い雨だ。駅伝競技は雨天決行、駐車場から開会式場まで歩いたが、風もあり寒い。

開会式が始まりコートを脱いだが、風もあり寒い、この中で走るのは大変だ。中学生から一般まで多くの人が走る。走るから、寒さは走っている間は問題ないが、あとが寒いだろう。寒さだけでも大変だろうに、本降りの雨。風邪、インフルエンザにならないようにと思いつつ、会場を後にした。

村長の日記

2月7日（火）

お通夜に参列

本日のお通夜は、何百回とお通夜に参加した中で、私にとって初めての経験。

午後7時前、西洛寺住職と共に会場着。私たち参列者は、土足で2段になった10cmほど低いフロアに設置してあるソファに座る。今まで参列したお通夜では初めての、ゆったりしたソファ。喪主を始め、家族も1段高いフロアで棺を挟んで向かい合ったソファに着座。いつもの葬儀と違い参列者も少なめだが、ソファのすわり心地も良く、エアコンの設定も暖かく、寒い中快適な環境だ。

午後7時、西楽寺住職読経開始。15分後、喪主から焼香開始。参列者の焼香が一巡後、すぐに住職のお説教。その後、故人とのお別れで終了。お通夜と葬儀式が一緒になったようなお通夜だった。この10年、葬儀式も大きく変わってきた。行政もイノベーションが必要な時代だ。

2月9日（木）

大阪府 平成29年度第1回後期高齢者医療広域連合議会 2月定例会

平成28年度後期高齢者医療一般会計、特別会計補正予算。

既に給付額は1兆円を超えた。これから高齢者が徐々に増加するに従い、医療費はますます増加する。我が国の様に高度医療が進み、平均寿命が延びると、必ず高齢者の医療費が増加するのは間違いない。がん治療薬“オプシーボ”投与では、1年3000万円かかると言われている。薬価を下げると言われているが、10分の1、100分の1になることは無い。がんの重粒子線治療では、まだ保険が適用されておらず300万円。これからの高齢者医療はコスト計算はできない。私もできるだけ医療費がかからないようにしよう。

2月10日（金）

19:00

新庁舎建設説明会（千早小吹台小学校体育館）

今年の冬最高の寒波の日に当たった上に、会場が体育館。大きな石油ストーブを設置したが効果なく、非常に寒い中での説明会になり、皆さんに寒い思いをさせた。私はコートを脱いで説明にあたったが、あまりの寒さに途中でコートを羽織り、少し暖を取らせてもらった。

村長の日記

説明会では、去年5月5回にわたって説明会を行い、庁舎建設計画を再検討し、住民アンケート提案頂いた次の3案を説明し、皆さんの意見を集約するのが目的。

1. くすのきホールを改装し新庁舎に転用

建設費15億1千万円、(うち取り付け道路6億3千万円)

良い点

- ・既存施設改修であり経費削減が期待できる。
- ・建設工期が短い。

難点

- ・アクセス対策として新設道路が必要。
- ・くすのきホールは築25年経過、ホールを利用した庁舎は耐用年数が短い。

2. 現庁舎の位置で建て替え

建築費10億9千万円

良い点

- ・バス路線がありアクセスが良い。
- ・村の中核的な役割を果たす立地。

難点

- ・土砂崩壊危険区域にあり土砂対策の要あり。
- ・駐車スペースが少ない。

3. 保健センターを改修新庁舎に転用

建築費10億4千万円

良い点

- ・バス路線がありアクセスが良い。
- ・村の中核的な役割を果たす立地。

難点

- ・十分な執務スペースが無く現庁舎の改築が必要。
- ・保健センターは築20年耐用年数に難あり。

*村の財政状況

	H27年	H37年
単年度収支	+1.4億円	+1億円

村長の日記

村債残 1 5 億 4 千万円 2 2 億 7 千万円

積立金 1 7 億円 1 4 億 4 千万円

説明会日程

1 0 日 千早小吹台小学校、

1 1 日 1 4 時 くすのきホール 1 8 時 3 0 分 千早老人憩いの家

1 2 日 1 4 時 旧千早小学校 1 8 時 3 0 分 くすのきホール

5 回説明会を行い 2 月 1 7 ~ 2 7 日住民アンケート、建設場所を決定。庁舎建設に向かう。

2 月 1 3 日 (月)

トップセミナー (KKR ホテル大阪)

講師 歴史小説作家 童門冬二 氏

千早赤阪村、歴史上の人物に楠木正成がいる。

彼が後醍醐天皇に見いだされ有名になったのは、天皇が夢で「都の南で木が茂っている地に人物がいる」。

木篇に南で楠となり、楠公さんが召し出されたとなっているが、彼は高野街道の守護職であり、また岸の津(石川水運の港、富田林の近く)を中心とした浪速から大和平野への陸運を支配し、大きな情報網を持っていた。また金剛山からとれる水銀(昭和 3 0 年ころまで水銀鉱山が営業していた)を支配し、莫大な富を蓄えていたことも大きな理由である。

日本は戦国時代以降、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康と時代は続くが、常にリーダーは平和を願っていた。日本中に愛の風を吹かしたいと信長は念じて行動していた。比叡山の僧侶 3 0 0 0 人の虐殺で彼の考え方に疑問を持った明智光秀により殺され、次の秀吉は「国の平和は力を見せつける事」以外ないと考え、大きな大阪城を造り、秀吉へ手向かうことの無駄を各大名へ植えつけことで平和を維持した。家康も同じ手法で徹底した力で平和を維持し、徳川 3 0 0 年の基礎を作った。

日本初、CSR の元祖 淀屋は中之島に米の取引所 (米相場) を作り、世界初の商品先物取引を行った。淀屋の遺志を継ぎ、カレンシー、商品、株、資源、エネルギーの取引センターを大阪に再び持ってくる事は出来ないだろうか？

村長の日記

2月14日（火）

連絡協議会

富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、富田林警察署 連絡協議会。この協議会は非常に名前が長いので、以降連絡協議会とする。
今、連絡協議会の地域では昨年からの同一機種の防犯カメラ設置で事業が進んでいるので、犯罪抑止に効果が出ている。今、管内の問題は、

- ・ 特殊詐欺
- ・ 不法投棄
- ・ 高齢者放浪
- ・ 所在不明児童
- ・ ヤンキー問題

いろいろな問題が存在する。すべての事案は市町村にまたがるが、発生したときは首長を集めるのではなく、担当部所が集まり、富田林署と協議すれば済む。富田林署の指示により、適宜協議することになった。

来年は河南町、次の年度は千早赤阪村が幹事で協議会を開催する事となった。

2月15日（水）

平成28年度 大阪府町村長会理事会

来る22日、町村長会提出案件の審議を行う。

- ・ 大阪府町村長会一般会計・特別会計補正予算
- ・ 平成29年度一般会計・特別会計予算
- ・ 全国町村職員生活協同組合大阪府支部共済事業会計予算
- ・ 全国町村会保険事業事務費交付金会計予算

以上了承を得て総会に諮る。

本年6月、九鬼局長が振興協会の規定により定年を迎えることになった。振興協会では後任の事務局長選考を進めた結果、現環境農林部長石川晴久氏に内定した。

村長の日記

局長の退任は6月末。

振興協会の理事会、評議委員会以降、石川局長の就任は7月1日を予定している。

2月20日（月）

第7回庁舎建設特別委員会

新庁舎建設住民説明会の報告

千早小吹台小学校体育館・千早老人憩いの家・旧千早小学校体育館・くすのきホール2回、都合5回の説明会を行った結果、73人の参加者があった。昨年の説明会はほぼ400人の参加があり、今回は非常に少ない。前回は「くすのきホールを取り壊すのはもったいない」の問題があり、住民の思いがあった結果だと思う。

議員の皆さんには「庁舎建設は現在地で建て替えるべき」との決議をいただいている。説明会では庁舎建設反対や3つの案以外の提案はなかったが

- 出来るだけコンパクトに安く
- 議会スペースが大きい
- 住民の利便性優先
- 補助金を可能な限り使い、財政計画を完璧に

等の意見を頂いたことを報告した。

前回の実施設計業務解約の報告

庁舎基本設計1600万円、実施設計5450万円、合計7050万円で、平成27年10月30日に契約した。

新庁舎建設契約見直し案として3つの代替案を決定した事により、当初のプロポーザル条件と異なる事になり、本委託業務を解約した。

業務の中断により、仕様書に基づく成果図書の提示は困難であり、協議の結果以下の通り清算することになった。

- ・ 精算額の査定は契約額の範囲内
- ・ 出来高の査定は仕様書に基づき
 1. 既履行業務の成果品の査定

村長の日記

2. 仕様書の項目別成果品査定
3. 仕様書以外で必要に応じ対応した業務の成果査定品査定

数回にわたり協議の結果、成果額は1610万円を予定。

2月21日（火）

第1回 西日本日中友好交流大会（ホテルニューオオタニ大阪）

日中の会議に参加するのはこれで2回目、前回は橋下知事の時代。中国がGDPで日本を追い越し、日の出の勢いで経済の拡大をしている時代だった。

中国の官僚が同じテーブルに着座していて、中国の国と地方の関係、地方と市町村の関係を、懇切丁寧に教えていただいたのを思い出す。今回はビジネス関係のメンバーが多いようだ。

基調講演として、自民党幹事長 二階俊博先生。先生は昨年3000人の政財界の皆さんを動員し、日中親善のイベントを行っていただいた。日中は東南アジアだけでなく、力を合わせ、世界平和はもとよりワールドワイドな経済発展を主導していく必要がある。日中友好を通じて、世界の平和、経済の発展につなげて行こう。

次に 程永華 駐日中国大使。驚いたことに程大使は日本語が堪能で、私達より素晴らしい正確な日本語を話す。

二階幹事長、程永華大使の基調講演の後、分科会が開催され

- ・ 日中交流を拡大し友好関係を増大する。
日中双方の友好協力代表。
- ・ 実務協力を拡大し強化し相互の、WIN_/WIN の関係を実現する。
日中双方の経済、貿易関連団体企業。
- ・ 未来に向けて青少年交流の促進。
日中双方の学生、教育機関、学者。
- ・ 観光交流を促進し双方向の人的往来の拡大。
観光関連団体、企業。

村長の日記

参加者が非常に多く、日中すべての面で交流が複雑多岐にわたっているのが実感できた。

2月22日（水）

大阪府町村長会 総会

本日の総会は2部制になっており、大阪府町村職員勤続20年の表彰、代表受賞者は太子町の胡麻さん、ご苦労さまです。

次に町長在職10年、河南町 武田町長さんが受賞。

表彰式の最後は、3期12年町長を務めていただいた太子町 浅野町長、全国町村長会会長表彰。

第2部、町村長会総会

- ・ 大阪府町村長会一般会計歳入歳出予算
- ・ 特別会計予算
- ・ 全国町村職員生活協同組合大阪府支部共済事業会計歳入歳出予算
- ・ 全国町村会保険事業事務費交付金会計歳入歳出予算

以上予算を可決後、大阪府より事業説明

* 2025年日本万国博覧会誘致の説明（政策企画部長より）

8年先、大阪で万国博覧会を開催予定、現在フランスのパリと競合している。国民的合意を得て大阪での開催権を得る目的で、東京事務所を設置するとともに、経団連他経済団体のバックアップを得て大阪万博実現に向け、スタートした。ぜひまた大阪で万博を、大阪オリンピックの例もあるので、皆さんの協力を。

* 大阪府森林環境税による森林保全対策の説明

大阪の森は木材価格の下落により間伐が進まず、間伐を行っても間伐材が放置されており、大雨の時には放置木材流出で被害が大きくなる。森林環境税で木材を搬出、間伐を行い流出を防止する。都市緑化を環境税でとの話もあるが、環境税5年間全てを使っても府下山林の3分の1程度しかできない。山林は間伐、都市は緑化、頭の痛い話だ。

* 国民健康保険制度改革（市町村標準保険料率仮試算結果）

府の保険課で仮試算を行ったところ、村の保険料は府下同一保険料になった時、ほぼ55%のアップとなる。国の支出金(全国で170

村長の日記

0億円)もあるので、まだ試算の段階であるが、大幅な上昇は避けられない大変な事態だ。村は給付が少なかったので、一時2億円近い基金が出来た。保険料を府下で最低に変更したが、高齢化が進むに従い給付が増え余裕が無くなってきた。この状態が続くと、2年以降には一般会計より繰り入れする必要がある。この事態を避けるために、村の国民保険料を上げる必要がある。

* 市町村振興宝くじ交付金

サマージャンボ、オータムジャンボ(今年よりハロウィンジャンボと改名)の収益金は、都道府県を通じて市町村へ配分される。5年前と比較して交付金は大幅に減少している(宝くじの売り上げ低下)。

各市町村の広報誌でPR、特設売り場の開設をお願いし、宝くじの売り上げ増を後押ししてほしい。

島本町川口町長、3期12年で町長辞任の挨拶があった。

長年にわたり町村長会副会長を務めていただいたお礼を申し上げ町村長会を終わる。

2月24日(金)

府内山優良木材品評会

今年の木材市場は、材木の量が多い。市場の関係者に聞くと、村の補助金も少し後押ししているらしい。

表彰式。知事賞は取り逃がしたものの、村長賞(NO1は知事賞、NO2は村長賞、NO3は森林組合長賞)は大径木、中径木に分かれており、大径木、中径木ともに村内業者に決定、賞状をお渡しした。昔25年~30年前、この市場では日に2億円~3億円の売り上げはあったが、現在では4~5千万円、これでは林業は発展しない。昭和60年頃、天気の良い日は連日集材ヘリコプターが村の上を飛んでいたが、今ではヘリコプターのチャーター料と木材価格が同じか、木材によってははるかにヘリのほうが高い。高齢化で山林労務者がいなくなった現在、このままでは山が荒廃するのは目に見えている。しかし、この悪い状況にもかかわらず、村内業者が山林作業に従事してもらっているのは心づよい。

29年度も些少ではあるが、間伐補助をつけることが出来た。この補助金が呼び水となって、山が本来の働き(CO²の固定とO²補充、山崩れの防止)をしてほしい。

村長の日記

2月27日（月）

今年に村議会議員の選挙があり29年度予算議会は早く始まる。

本日は29年度予算審議の議会、国会では今日97兆5千億円の国家予算が衆議院を通過、年内に予算が成立します。村も少々金額は違いますが、本日一般会計、特別会計予算、合計56億3千万円を上程します。

千早赤阪村は平成26年度、過疎指定を受けました。私は「日本で初めて過疎から脱却する村」をテーマに、人口増1000人、税収増3億円を夢として、夢が目標となり、目標が現実となる日は遠い将来ではない、皆さんの協力を得ながら私たちは夢に向かって進んでいきます。

村はいろんな面で、住民の皆さんが行政依存度が高いと感じています。各種委員会、外郭団体でも職員が懸命にサポートしております。

本来は住民主導で運営していただき、職員がバックアップに当たるのが本来の姿です。

住民の皆さんの盛り上がり方を形にすることで、村全体のパワーが上がり、村が過疎から正常に戻る力が出来ると思います。

継続して議員を続けていただく先生、おやめになる先生もおいでとの噂もありますが、ぜひ村発展に力を貸していただき、村は去年より間違いなく確実に少し良くなったと言われる村造りを、職員とともに進めます。

議員先生方のご健闘をお願いするとともに、良い村造りへのご協力をお願いし、開会の挨拶といたします。

開会挨拶の後、議会開催。

28年度一般会計の補正予算、特別会計の補正予算、以下20議案を総務民政特別委員会、文教建設特別委員会に付託。

- * 平成29年度一般会計予算 31億3520万円
- * 国民健康保険特別会計予算 11億2580万円
- * 介護保険特別会計予算 8億3710万円
- * 後期高齢者医療特別会計予算 1億0400万円
- * 下水道事業特別会計予算 2億4240万円
- * 金剛山観光時事業特別会計予算 1億4700万円

合計56億3100万円の予算を上程し、総務民政常任委員会、文教建設常任委員会に付託し、初日閉会。